



長野県福祉大学校便り

令和3年4月
第14号

保育学科48名、介護福祉学科14名は、「夢の実現に」向け
そして、それぞれの「正解」を探しに旅立ちます。
支えてくださった皆様に感謝申し上げます。

令和2年度 卒業生進路状況

		保育学科	介護福祉学科
公立保育所	正規	21名	7名
	非正規	6名	
私立保育所	正規	3名	1名
認定こども園 幼稚園	正規	3名	3名
児童福祉施設	正規	1名	
			3名
進学	本校	11名	
	他校	1名	
その他		2名	
卒業生数		48名	14名



保育学科2年
林 優香 (岡谷市保育士内定)

福祉大での2年間は、楽しいことばかりでなく、講義やピアノのレッスンに加え、コロナ禍での実習そして大阪芸大のレポートや試験、スクーリングなど、忙しく大変な時期を過ごしました。しかし、そのような時だからこそ支え合い、励まし合った仲間や先生方がいたおかげで、ここまで頑張ることができました。

また、保育士の大変さや苦勞を感じながらも、実習室の子どもの元気な姿に、改めて可愛らしさを感じ、毎日癒されていました。今まで学んできたことを活かし、夢だった保育士として頑張っていきます。



介護福祉学科



卒業式



2年生ミュージカル



卒業音楽会

保育学科1年生

夢に向かって、 仲間と共に一步一步前進！

入学してからの一年を振り返ると、学校の授業やピアノのレッスン、保育実習などがあり、あっという間で、とても充実した時間を過ごすことができたと感じます。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、休校、毎年行われていたスポーツ大会などの中止、文化祭や卒業記念音楽会の規模縮小など、これまで当たり前だった生活、日常が

大きく変化しました。できることにも制限がいくつかあり、今まで気にしていなかった「当たり前」が実はとてもすごいことだと感じる事ができた一年でした。これからも、そばで支えてくれる家族、先生方やクラスの仲間感謝の気持ちを忘れず、夢の実現のために勉強や実習など頑張りたいと思います。

藤田 愛里



「全員が輝いた卒業記念音楽会」

今年度は、新型コロナウイルス感染症により、限られた時間の中で多くの曲を仕上げる事が求められ、時に練習が辛く感じることもありましたが、先輩方が真剣に練習を進める姿を見ることができ、本番では歌を通して多くの方々にエールを伝えることができたと思います。

来年度は、今年度の先輩方のように全員で協力して、聞かせてくださる全ての方々の心に響く卒業記念音楽会を作り上げていきたいです。

歌声委員長 金子 愛花

「初めての実習」

緊張と不安を抱えながら臨んだ初めての保育所実習は、とても貴重でこれからつながる時間になりました。子どもたちの嬉しそうな笑顔を見たり、家での出来事や好きなものの話を聞いたり、一緒に体を動かして遊んでいる時間が毎日楽しくて癒されてきました。子どもたちとの関わりを通して共通して感じたことは、着替えや食事などの援助の時にどこまで手伝っているのか、今は見守るべき時間なのかという見極めの難しさです。先生方は子どもとの日頃の関わりから、自分の力でできそうなどときには見守り、できた時には全力で褒めていました。実習中は、先生方の動きをたくさん学ばせていただき、とても多くの発見がありました。

今後の課題も見つけることができたため、実習での経験を生かしこれからも頑張っていきたいです。

斎藤 香澄



保育学科2年生

それぞれの“正解”を探しに

いろいろなことがあった2年間。沢山学び、経験し、大きく成長した2年間でした。福祉大での思い出を胸に、それぞれの“解答用紙”に自分なりの答えを沢山書き入れていてくださいね。



歌声委員会委員長

熊谷 玲実

様々な制限の中で練習していく難しさやまとめることの大変さを痛感し、悩むことや不安になることも多くありましたが、いつも優しく温かい言葉をかけてくれた仲間の支えで最後まで頑張ることができました。本番、みんなの素敵な笑顔が見れた時、委員長をやってよかったと心から思いました。仲間と同じ舞台に立てたことを本当に嬉しく思います。ありがとうございました。



卒業記念音楽会 ミュージカル監督

清水 希歩

1年間かけて作り上げてきた「しあわせの木」を、無事保護者の方や先生方、在校生に見ていただくことができ、とても嬉しく思う気持ちと、仲間と気持ちをひとつに作り上げてきた日々が終わってしまう悲しさが、込み上げてきました。練習の度ごと更に良くしようと変わっていく姿は、26期生の強さを見せてくれるものでした。全ての日々が宝物です。ありがとうございました。



福祉大学校を支援する会「白樫賞」受賞

塩原 真子

卒業研究を通じて、自然保育が求められていることや、実地調査において子ども達の豊かな発想力や伝える力を持つ姿から、自然活動により人間に必要な力が育まれることを学びました。白樫賞という素晴らしい賞をいただくことができ、とても嬉しく思います。この研究を活かし、保育者として自然活動を取り入れ、子ども達の発見や学びとなる環境を作っていきたいです。



祝 全国保育士養成協議会会長表彰

合戸 友香

今年は新型コロナウイルスの影響により、実習の延期やイベントの縮小など例年とは違った苦労もありましたが、中でも、隣で支えてくれる友達の大切さや、当たり前の日常がかけがえのない時間であることに気づくことができました。この2年間は驚くほどあっという間でしたが、仲間と共に様々な経験ができたことは、一生の思い出です。4月からはこの学校で学んだことを保育の現場で活かし、精一杯頑張っていきたいと思います。



太田 幸花

(松本市保育士就職内定)

2年生になってからは、普段の授業に加え3回の実習や就職活動などがあり、非常に忙しく、また充実した日々を過ごしました。保育士として4月から働くことに少し不安もありますが、福祉大学校で学んだことは絶対に自分の力になっていると信じて頑張りたいと思います！



介護福祉学科

祝卒業! 夢と希望に向けて

介護福祉学科のクラスは、どんな時も14人で笑い、14人で励まし、14人で力を合わせて様々な波を乗り越えてきました。そんな福祉の天使たちが夢と希望に向けて福祉大学校を旅立ちます!

この1年を振り返って



振り返ればこの1年はコロナという脅威のウイルスに振り回され続けた年でした。しかし、そんな状況下の中で、私たちが常に支え導いて下さる多くの方々がありました。快く実習を受け入れてくださった施設の方々、リモートなど様々な方法を駆使し、学びを提供して下さった講師の先生方、そして、何よりも尽力して下さった介護福祉学科の先生方。多くの方々の支えに感謝し、4月から新天地でそれぞれ根を張れるよう頑張ります。

(ルーム長:山田茜音)



この1年間は、本当に充実したものでした。忙しい日々が続き、学びと真剣に向き合うからこそ、自分の不甲斐なさに情けないと思うこともありましたが、それでも仲間と励まし合い、高め合い、クラス全員で前に進み続けてきました。成長した姿で卒業できる今、しゃんと胸を張れています。仲間との毎日が幸せで最高でした。離れるのは寂しいけれど、この1年間の輝きを胸に、また皆で前を向いて、それぞれの道で頑張れるように願っています。

(副ルーム長:茅野冬乃)

国家試験全員合格をめざして

人生で一番勉強した1ヶ月でした。9時から16時まで過去の模試を解き、家に帰って見直しを3時間。「私ってこんなに勉強できるんだな。」と意外な新発見をしたほどでした。

しかし、毎日の勉強に心が折れそうになる時もありました。そんなときに支えになったのは、模擬試験で合格基準点を超えているのに、それでも勉強をし続けているクラスメイト全員でした。大好きなクラスメイト14人で点数を高め合うことが私の目標になり、最後まで走り切ることができました。また、校長先生をはじめ、たくさんの先生方からメッセージや差し入れをいただき、学校全体で支えられていることを改めて気づくことができました。大切なクラスメイト、すべての先生方に感謝したいです。やっぱり福祉大最高!! (吉村美波)



事例研究発表会をとおして学んだこと



祝 福祉大学校を支援する会「白樺賞」受賞

事例研究発表を通し、施設で暮らす利用者様に限らず、私を含め、「今」という時間を生きる大切さについて学ぶことができました。たくさんの優しさと学びを与えてくださった担当利用者様に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも人のため、自分のために、「今」を積み重ね、ひたむきに歩んでいきたいと思います。

(山谷美羽)

Topics

第1回長野県介護技術コンテストにおいて優秀賞を受賞しました!



卒業記念音楽会

祝 受賞・代表 おめでとうございます!



日本介護福祉養成施設協力会会長賞

丸山 紗弥さん

学業成績・人物ともに他の模範となるべき学生として選考されました。



卒業記念贈呈者

笠原 香凼さん



調理実習



地域交流クリスマスコンサート



14人全員合格!! 国家試験対策



文化祭